

- 問1 ニュージーランドでは、ラグビーのナショナルチームが試合前に先住民の伝統的な踊りである「ハカ」を披露することが恒例となっています。このような取り組みが行われている背景にある、ニュージーランドの社会的な姿勢や多文化共生のあり方として最も適切な説明を選びなさい。
(2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 先住民であるマオリの伝統文化を尊重し、国の誇りやアイデンティティの一部として広く社会に取り入れている。 | 2. 古代エジプト文明から伝わったとされる儀式を、スポーツの勝利を願うための独自の宗教儀礼へと作り替えた。 | 3. 隣国であるオーストラリアの先住民の文化を、スポーツを盛り上げるための演出として試験的に導入している。 | 4. イギリスからの移民が持ち込んだラグビーを、先住民の文化を完全に排除して発展させるための比較対象としている。 |
|--|---|---|--|
- 問2 オーストラリアでは、かつて先住民の権利が制限されていた歴史を反省し、現在は彼らの文化や権利を尊重する政策へと転換しています。その象徴として、先住民の聖地である「ウルル（エアーズロック）」の管理権が先住民に返還されるなどの措置が取られていますが、このように多様な民族が互いの文化を認め合いながら共生する社会を目指す考え方を何といいますか。
(2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|----------|
| 1. 白豪主義 | 2. アパルトヘイト | 3. 同化政策 | 4. 多文化社会 |
|---------|------------|---------|----------|
- 問3 南アメリカのブラジルでは、ある農作物を原料としたバイオ燃料の普及が世界的に見ても進んでいます。この農作物と、その普及の背景にある目的について述べたものとして、最も適切な記述を選びなさい。
(2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 小麦を原料とし、食料自給率の向上と同時にバイオ燃料としての輸出を拡大させている。 | 2. さとうきびを原料とし、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑制する目的で利用されている。 | 3. 米を原料とし、化学燃料の価格高騰に対応するための安価なエネルギー源として普及している。 | 4. カカオ豆を原料とし、アマソンの森林破壊を防ぐための代替エネルギーとして開発が進められている。 |
|---|---|--|---|
- 問4 オーストラリアから日本への輸入品目に関する説明として、統計上の特徴を正しく述べているものはどれですか。2016年の輸入額データでは、上位3位までを鉱物・エネルギー資源が占め、第4位には農畜産物、第5位には別の鉱物資源が入っています。
(2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 第5位にはカナダからの輸入が中心である小麦が入っており、南半球との季節の違いを利用した輸入が行われている。 | 2. 第5位には銅鉱が入っているが、これはオーストラリアにおいて鉄鉱石よりも産出額が多いためである。 | 3. 第4位には中国から輸入されることが多い衣類が入っており、オーストラリアの安価な労働力を背景としている。 | 4. 第4位には肉類が入っており、広大な土地を活用した大規模な畜産業による産品が重要な輸入項目となっている。 |
|--|--|--|--|
- 問5 世界の国々における発電電力量の構成比において、火力が27.7%、原子力が2.6%、水力が68.6%となっており、水力発電が全体の約7割近くを占める特徴を持つ国はどこですか。
(2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|------------|
| 1. ブラジル | 2. 中国 | 3. フランス | 4. サウジアラビア |
|---------|-------|---------|------------|
- 問6 オーストラリアの穀物生産において、1980年から2000年にかけての推移を調べると、収穫面積は約1600万ヘクタールから約1800万ヘクタールへとわずかな増加にとどまっています。一方で、総収穫量は約1640万トンから約3540万トンへと2倍以上に増加しました。このデータから読み取れる、オーストラリアの農業における変化について述べた説明として最も適切なものを選びなさい。
(2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 収穫量と収穫面積が完全に比例しており、技術革新の影響は見られない。 | 2. 収穫面積が大幅に縮小したため、農作業の効率化が進んだ。 | 3. 一ヘクタールあたりの収穫量である土地生産性が大幅に向上した。 | 4. 収穫面積の増加率が収穫量の増加率を上回り、土地の利用効率が低下した。 |
|--------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
- 問7 南半球のオセアニア地域に位置するオーストラリア大陸において、ヨーロッパの人々が移住してくる以前から、独自の文化を築いて生活してきた先住民族を何と呼びますか。
(2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|--------|----------|
| 1. アボリジニ | 2. ヒスパニック | 3. マオリ | 4. イヌイット |
|----------|-----------|--------|----------|
- 問8 南太平洋の島国サモアのように、熱帯や亜熱帯地域の河口や波の穏やかな入り江付近において、潮の満ち引きの影響を受ける場所に広がる森林を何と呼びますか。
(2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|-----------|
| 1. サバナ | 2. タイガ | 3. ステップ | 4. マングローブ |
|--------|--------|---------|-----------|
- 問9 日本の東京を通る経線と、世界の大陸の位置関係について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 東京とオーストラリア大陸は経度が大きく異なるため、地図上では真南に位置しない。 | 2. 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。 | 3. 東京を通る経線は、大西洋を南北に貫き、アフリカ大陸の西側に位置している。 | 4. 東京から真南に進むと、赤道を通過する前にユーラシア大陸の最南端に到達する。 |
|--|---|---|--|
- 問10 オーストラリアの人口構成の変化に関する統計において、1961年と2016年の状況を比較した説明として、歴史的な背景を含めて正しく述べたものはどれですか。
(2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. アジア州からの移民増加により、2016年時点ではヨーロッパ州出身者の割合は10%未満まで激減した。 | 2. かつて主流だったアフリカ州からの移民が減少し、代わりにアジア州とヨーロッパ州からの移民が同程度の割合になった。 | 3. 1960年代以降、ヨーロッパ州からの移民受け入れを完全に禁止したため、アジア州からの移民が過半数を占めることとなった。 | 4. 移民総数が約4倍に膨らむ中で、アジア州出身者の割合が約44%に達し、ヨーロッパ州出身者を上回るようになった。 |
|--|--|--|---|
- 問11 日本への輸出額のうち、液化天然ガスが約35パーセント、石炭が約14パーセント、鉄鉱石が約12パーセントと、エネルギー資源や鉱物資源が上位を占めている国はどこですか。なお、この国からは牛肉などの肉類も輸出されており、輸出額全体の約6パーセントを占めています。
(2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------|-----------|------------|
| 1. アラブ首長国連邦 | 2. ブラジル | 3. インドネシア | 4. オーストラリア |
|-------------|---------|-----------|------------|
- 問12 オーストラリアの貿易相手国の変化について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる国名と、その背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。「1960年の統計において、オーストラリアの輸出額全体の約26%を占める最大の貿易相手国は（ ）であった。しかし、その後は地理的に近い日本や中国などのアジア諸国との結びつきが強まり、貿易構造は大きく変化した。」
(2026年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. イギリス — かつての植民地としての歴史的・経済的なつながりが非常に強かったため | 2. ドイツ — 第二次世界大戦後の復興需要により、鉱山資源の主要な輸出先となっていたため | 3. アメリカ合衆国 — 冷戦下における軍事同盟に基づき、農産物の輸出を独占していたため | 4. フランス — 南太平洋の島々を共同統治していた関係から、自由貿易が盛んだったため |
|---|---|--|---|